

結婚式スピーチで有名な3つの……、3つの……

まだまだ夏を思わせる気温が続いていましたが、そろそろ秋めいてくる天気予報が報じられています。さて、秋といえば電車内等で結婚式、披露宴の洋装をして幸せを分けていただいたように見える方々をお見受けしやすいと思うのは私だけでしょうか。

保護者、地域の皆さんは上記の3つの……についてよくご存じだと思います。生徒の皆さんは「……」にあてはまる言葉を知っていますか。

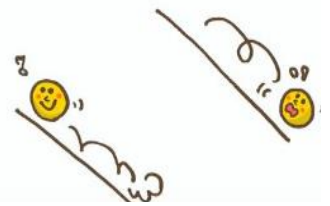
答えは、**3つの坂、3つの袋**です。

諸説ありますが、簡単に説明すると以下のとおりです。

まずは3つの坂の説明です。

長い人生をともに歩むと、ときには『上り坂(順調に進んでいるとき)』もあれば、『下り坂(失敗や良くない出来事などのとき)』もあります。そして、『まさか(魔坂:想像もできない事態が起きた、まさか~になるなんて)』の3つの坂があるという、たとえばです。

この坂を乗り越える相手を伴侶として選んだ自覚を改めて、もってほしいというお話です。「病める時も富める時も」の宣誓のセリフを思い浮かべますね。



次に、3つの袋についてです。

結婚は、これまで一緒に生活していなかった相手と新しい家族となります。価値観の違いや自分はさほど意識していなかったことも課題となる場合もあります。お互いの家族とのかかわりもできます。

そこで、3つの袋をしっかりとしめる(管理する)と、結婚生活をよりよく過ごせるといいます。たとえばです。

ついカッとなって後々、後悔しても関係修復までに時間と労力がかかってしまうため注意しましょうの『堪忍袋(感情のコントロール)』、お金は計画的に家族のためになる使い方が大切な『巾着袋(おさいふ管理)』、食べ物で関係性を築きやすくする、いわゆる食べ物で釣る『胃袋』または『お袋(家族を大切に)』が挙げられています。

まさかの代表として、新型コロナウイルス感染症を思い浮かべる人もいるかもしれません。仕事をなくした方や収入減になり経済的に苦しくなったご家庭もありました。

おいしい料理で胃袋をつかみたくてもできにくい状況にあったかもしれません。

学校が長期間にわたって休校するなど、予想もしていなかったできごとです。

本来、経験できた学校行事がなくなり、子供たちの日常生活能力も課題になった経緯もありました。

結婚に限らず、人生に置き換えても言える3つの坂と3つの袋なのだと思います。

私事ではありますが最後に招待された結婚式は、まさに新型コロナウイルス感染症の真ただ中のアクリル板で仕切られたテーブルでの披露宴でした。これはこれで、思い出深い時間となりました。未知なる感染症でも、正しく知って対処すれば、おめでたい晴れの日を祝う気持ちは変わりないと実感しました。

生徒たちが3つの坂、3つの袋をも糧に、しなやかにたくましく生きていけるよう支援していきます。

